

イーマ4月(第83回)例会のご案内

主催 特定非営利活動法人 アイエイチエムエージャパン 理事長 野口 哲英
共催 厚生労働、環境、国土交通、経済産業、農林水産各省認可東日本介護情報ネットワーク事業協同組合
有限中間法人血液を大切に作る会

例年になく長く続いた厳しい寒さもどうやら峠を越え、菜の花や梅の話題が聞かれる候となりましたが皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、2月の例会では本年4月より始まるメタボリックシンドローム対策として特定健診と特定保健指導が健康保険者に義務化されることに対してその基準値について警鐘を鳴らす著名な大槲陽一先生をお招きし、厚生行政の真のネライと制度の未来について裏話を交えた貴重なお話しを伺いました。それ等国の定めた基準では大半の人が対象となり、病気にさせられることにもなりかねず、出席者には先生の話聞いて、今までの不安が取れ、未来への明るい希望が得られたと好評でした。多くの会員からはアンコールの要望が寄せられ、先生には6月25日の例会に再登壇いただけることになりました。

次回第83回の例会は我国の三大死因で最も恐れられる癌について、予防から治療そしてホスピスまで免疫療法を中心とした最先端の医療を行い、抗がん剤や放射線治療と併用しながら、単なる癌の延命ではなく完全治癒を目指した医療を実践されている 蓮見賢一郎先生にお話をさせていただきます。ちなみに蓮見先生のお父上はハスミワクチンの開発者であり、わが国では丸山ワクチンと並んで免疫療法のパイオニアとして有名です。このワクチンは1948年に開発され、癌の予防と再発防止に使われており、今日まで15万人以上が受療されています。

記

日時:平成 20 年 4 月 30 日(水曜日) 18:00~20:00

テーマ「ガンの予防、治療、ケアの極めつけ療法」

講師 蓮見 賢一郎先生 米国法人蓮見国際研究財団理事長
医療法人ICVS 東京クリニック理事長、米国トーマスジェファーソン大学医学部
客員教授、中国吉林省腫瘍院名誉院長、医療法人珠光会理事長

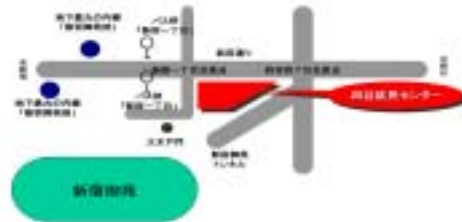
著書:「免疫力でガンと闘う」(法研)、
「最後まであきらめない患者さんへ最後まであきらめない医師が贈る愛のガンワクチン」
(エディタープロダクツ)他多数。

会場:四谷区民センター 1 1 階 集会室 2・3

(新宿区内藤町 87)

地下鉄丸の内線「新宿御苑前」駅より徒歩 5 分

参加費:お一人様 2,000 円(当日受付)



ご氏名:

ご連絡先: 電話又は FAX

< 例会 >	ご出席	ご欠席	メールアドレス
--------	-----	-----	---------

ご参加は メール honbu@ihma.or.jp あるいは FAX: 03(5225)1522 でお返事ください。